



# 学校だより

第 157 号 令和 2 年 5 月 29 日

## 学校再開に向けて

昨年の学校だよりスタートには、「新緑の季節へ」と書かせていただいたことを思い出します。今年のスタートは、緑も深みを帯び、時折夏の暑さを感じさせる季節を迎えています。

さて、3月から始まった感染症対策における臨時休校も3カ月の時を経て、ようやく学校再開を迎えようとしています。この間、子どもたちだけでなく、保護者の皆様、関係機関の皆様の多大なる



協力があったからこそ、この学校再開があると認識しています。すべてが元どおりとはいきませんが、分散登校など、段階的な学校再開へのご理解とご協力をお願いいたします。

また、多くの人が集まることや多くの人が集まる場所には行かない、不特定多数の方の来校を避けるため、学校行事や説明会、懇談会などは、中止や延期、個別の対応や小集団に限って実施するなど、その実施方法を工夫しながらの対応となります。そして、地域の皆様には、学校開放も8月いっぱい中止とさせていただきます。「これまでの状態とは遠いところにいる。」、こんな言葉を教職員の間でもたびたび使いながら、今できることは何かを考え、子どもたちの笑顔が戻ってくることを目指し、教職員一同準備をしてきました。そして、多くの応援団にも助けられました。動画配信

では、一般社団法人ピッカさんに楽曲の提供をいただいたり、学校運営協議会（旧学校評議員）でもお世話になっている海洋電子工業株式会社様からは、たくさんのマスクと消毒用アルコールのご寄付をいただきました。（写真はその一部）本当にありがとうございました。学校ができることには、限りがあるかもしれませんが、まずは安全第一に学校運営をしていくことに、全力で取組んでいきたいと思えます。



<5月19日海洋電子工業(株)様より>

今年度は新入生87名を迎え、総勢299名（肢体不自由教育部門小学部29名、中学部15名、高等部13名、知的障害教育部門小学部65名、中学部41名、本校高等部91名、横浜氷取沢分教室45名）の児童・生徒が在籍する学校として始まります。

何よりも子どもたちの「わかる」「できる」「えがお」があふれる学校を目指し、保護者や関係機関の皆さまと手を携えながら、子どもたちにとって何が一番大事かを常に考える学校でありたいと思えます。児童生徒のみなさん、保護者の皆様、地域・関係機関の皆様、よろしくお願ひします。

校長 鈴木英資